

# 舞台芸術ワークショップの ファシリテーター&コーディネーター 人材養成講座

アーティストと  
社会をつなぐ  
広場ラボ

## 対象

- ◎俳優・ダンサー・音楽家などの舞台芸術のアーティスト
- ◎舞台芸術・福祉・教育などの現場に勤務している人
- ◎舞台芸術を使って人と人をつなぎたい人

日時 **2019年1月26日(土)**  
10:00~17:00

会場 愛知芸術文化センター  
12階アトスペースA

講師 吉野 さつき、倉品 淳子

参加費 無料

愛知県芸術劇場では、舞台芸術をより多くの人に“開いていく”担い手を養成する講座をスタートします。理論と実践を学び、将来的には、劇場とともに舞台芸術ワークショップのプログラムを開発し、様々な現場で実践していくことを目指します。今年度は、座学・体験・交流を通して、ワークショップを実施する際に必要な基礎知識を学びます。体験して、振り返って、実践する、実験(ラボ)の広場です。あなたのご参加をお待ちしています。

どのような人材を養成するの？

- \*演劇・ダンス・音楽などの舞台芸術のワークショップを行うファシリテーター
- \*舞台芸術と福祉や教育などの現場をつなぐコーディネーター

## 主な内容

- 座学／ワークショップ入門  
ワークショップとは？  
ファシリテーター、コーディネーターの役割  
アーティストにとってのワークショップの意義  
ワークショップ事例紹介
- 体験／ワークショップ体験と振り返り
- 交流／意見交換 など

## 対象

俳優・ダンサー・音楽家などの舞台芸術のアーティスト  
舞台芸術・福祉・教育などの現場に勤務している人  
舞台芸術を使って人と人をつなぎたい人

## 定員

20名程度(先着)

## 講師



### 吉野 さつき よしの さつき

◎ワークショップコーディネーター・愛知大学文学部教授

英国シティ大学大学院でアーツ・マネジメントを学ぶ。公共ホール勤務、英国での研修(文化庁派遣芸術家在外研修員)後、コーディネーターとして、教育、福祉などの現場でアーティストによるワークショップを数多く企画。アウトリーチ事業やコミュニティアーツプログラム、ワークショップ等の企画運営を担う人材育成にも各地で携わる。2017年度より厚生労働省の障害者芸術文化活動普及支援事業評価委員。異ジャンルコラボバンドの「門限ズ」では、めいとして活躍中。



### 倉品 淳子 くらしな じゅんこ

◎俳優・演出家

劇団山の手事情社所属。1990年より俳優として劇団山の手事情社にて舞台表現を追求する傍ら、インプロや大道芸、「あなざ事情団」「門限ズ」などのユニットに参加し、観客参加型演劇、他分野アーティストとの作品作りなど、演劇の可能性を広げる活動も同時に行ってきた。スイス、ドイツ、ポーランド、ルーマニア、韓国など海外での公演も多数。2012年より認定NPO法人ニコちゃんの会「すごい演劇アートプロジェクト」チーフプロデューサー。桜美林大学非常勤講師。異ジャンルコラボバンドの「門限ズ」では、じょほんこととして活躍中。

©富永亜紀子

## お申込方法

申込方法：メール(ws7@aaf.or.jp)にて件名に広場ラボ、本文に下記項目を記載のうえ、お申込みください。

- ①名前(ふりがな)
- ②年齢
- ③性別
- ④職業
- ⑤連絡先(メールアドレス、電話番号)
- ⑥参加動機
- ⑦舞台芸術の経験:演劇・ダンス・音楽・その他( )
- ⑧具体的な活動内容(舞台芸術の経験のある方)

※お預かりした個人情報は、愛知県芸術劇場[(公財)愛知県文化振興事業団]にて厳重に管理し、本事業を運営するために使用し、それ以外に使用しません。

※2019年度は5月25日、26日に「ワークショップのプログラムを考える(仮)」を開催予定です。